

住宅性能評価の等級

《設計・建設住宅性能評価項目》（共同住宅）

日本住宅性能表示基準による表示すべき事項			評価の 要 否	公営住宅等 整備基準	
1	構造の安定に 関すること	1	耐震等級(構造躯体の倒壊等の防止)	○	建築基準法遵守
		2	耐震等級(構造躯体の損傷防止)	○	建築基準法遵守
		3	その他(地震に対する構造躯体の倒壊等防止 及び損傷防止)	○	建築基準法遵守
		4	耐風等級(構造躯体の倒壊等防止及び損傷防)	○	建築基準法遵守
		5	耐積雪等級(構造躯体の倒壊等及び損傷防)	○	建築基準法遵守
		6	地盤又は杭の許容支持力等及び設定方	○	—
		7	基礎の構造方法及び形式等	○	—
2	火災時の安全に 関すること	1	感知警報装置設置等級(自住戸火災時)	○	建築基準法遵守
		2	感知警報装置設置等級(他住戸火災時)	○	建築基準法遵守
		3	避難安全対策(他住戸等火災時・共用廊下)	○	建築基準法遵守
		4	脱出対策(火災時)	○	建築基準法遵守
		5	耐火等級(延焼の恐れのある部分(開口部))	○	建築基準法遵守
		6	耐火等級(延焼の恐れのある部分(開口部以 外))	○	建築基準法遵守
		7	耐火等級(界壁及び界床)	○	(等級指定なし)
3	劣化の軽減に 関すること	1	劣化対策等級(構造躯体等)	○	等級 3
4	維持管理への配慮に 関すること	1	維持管理対策等級(専用配管)	○	等級 2
		2	維持管理対策等級(共用配管)	○	等級 2
		3	更新対策(共用排水管)	○	等級 1
		4	更新対策(住戸専用部)	○	—
5	温熱環境に 関すること	1	断熱等性能等級	○	等級 4
		2	一次エネルギー消費量等級	○	等級 4
6	空気環境に 関すること	1	ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)	○	等級 3
		2	換気対策	○	建築基準法遵守
		3	室内空気中の化学物質の濃度等	不要	—
7	光・視環境に 関すること	1	単純開口率	○	建築基準法遵守
		2	方位別開口比	○	建築基準法遵守
8	音環境に 関すること (選択項目)	1	重量床衝撃音対策	○	等級 2 又は 相当スラブ厚15 cm以上
		2	軽量床衝撃音対策	不要	—
		3	透過損失等級(界壁)	○	建築基準法遵守
		4	透過損失等級(外壁開口部)	○	等級 2
9	高齢者等への配慮に 関すること	1	高齢者配慮対策等級(専用部分)	○	等級 3
		2	高齢者配慮対策等級(共用部分)	○	等級 3
10	防犯に関すること	1	開口部の進入防止対策	○	—

(注) 等級については、「住宅品質確保促進法に基づく告示(日本住宅性能表示基準)」参照のこと。

(注) 条例運用基準が改正された場合は、改正後の基準を遵守すること。